

独立行政法人科学技術振興機構 第1回契約監視委員会 議事録

監査室

第1回

開催日 平成22年1月15日(金)

15:00~17:10

開催場所 JST東京本部 役員会議室

議事次第

1. 各委員の紹介
2. 委員長の互選および委員長代理の指名
3. 総務・経理担当藤原理事挨拶
4. JSTの事業概要
5. JSTの契約状況について
6. 契約書類精査

配付資料

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| 資料1 | JST契約監視委員会委員リスト |
| 資料2 | JST契約監視委員会規則    |
| 資料3 | JST要覧           |
| 資料4 | 文部科学大臣書簡及び閣議決定  |
| 資料5 | JSTの契約状況        |
| 資料6 | 点検対象契約一覧        |
| 資料7 | 各委員から選定された契約一覧  |

各委員から選定された契約の内、ある程度共通している契約内容を選び、全員で契約書類の精査を行った。その契約は下記の通り。

1. 随意契約 三番町ビル賃借料
2. 随意契約 日本科学未来館運営業務一式
3. 1者応札 抄録・索引作成及び日化辞データ整備(G12)抄録・索引・情報利用料

質疑応答

1. 三番町ビル賃借料

委員より坪単価いくらかで予定価格を見ているのか、周辺地域の賃借料の相場と比べてみて高いのか安いのか、また契約の履行期間が平成25年までとなっているがその間の解約は、また契約保証金等について質問が出た。それに対し、政府系の機関であ

り、周辺の地域の賃借よりは安く契約している。契約期間は実質単年度であり途中で解約できないことはない、また契約保証金は取っていないこと等を説明した。

## 2. 日本科学未来館運営業務一式

日本科学未来館は昨年度の事業仕分けの結果どうなったのか、またこれまでの契約方式はどのようになっているのか、等の質問が出た。これに対し平成 20 年度の随意契約はあくまでも一般競争入札に移行するための準備期間を確保するためであり、平成 21 年度からは一般競争入札とした。しかし、1 者応札であり平成 21 年度と同様（財）科学技術広報財団が落札した。昨年度の事業仕分けにより日本科学未来館の運営業務は平成 22 年度からは J S T 直執行となる予定。日本科学未来館の予算は、運営業務を含めて平成 22 年度の予算は 1. 6 億減の約 22 億となる。また（財）科学技術広報財団の役職員には公務員や J S T の O B 等が入っていない事等を説明した。

## 3. 抄録・索引作成及び日化辞データ整備（G 1 2）抄録・索引・情報利用料

この契約は同じような契約が 7 4 もあるのはどうしてか、また総合評価の方法をもって落札者を決定するとあるが、どのようにしているのか等の質問があった。これに対して科学技術全分野のデータベース作成のためのものであり、専門分野別に発注しないとデータベースの質が保たれないため 7 4 に分割した。総合評価には加算方式と除算方式があり、本契約では加算方式をとっている等の説明を行った。